

保護者様

小山市立小山第一小学校長 増淵 昌幸

学校評価アンケートの結果について

日頃より本校の学校教育につきまして、御理解と御協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、先日実施しました保護者アンケートの結果をお知らせいたします。保護者の皆様の貴重な御回答や御意見を今後の教育活動に生かして参りたいと思います。御協力ありがとうございました。

A…よくあてはまる（よくできている）

B…ややあてはまる（だいたいできている）

C…あまりあてはまらない（あまりできていない）

D…あてはまらない（できていない）

※各項目の単位は％で表示

集計年度		令和6年度						令和5年度				
回答率		73%						80%				
項目		A	B	A+B	前年度比	C	D	A	B	A+B	C	D
1	子どもは、楽しく学校へ通っている。	56.3	38.4	94.7	0.9	3.7	1.6	59.7	34.1	93.8	5.4	0.8
2	子どもは、元気に挨拶をしている。	31.8	50.2	82.0	-6.3	16.3	1.6	43	45.3	88.3	9.7	1.9
3	子どもは、善悪の判断、約束やきまりを守って生活をしている。	43.3	51	94.3	-0.3	4.9	0.8	43	51.6	94.6	5	0.4
4	子どもは、あとしまつ・整理整頓に心がけて生活している。	15.9	43.7	59.6	-7.9	36.7	3.7	19.4	48.1	67.5	25.6	7
5	子どもは、友達のよさや違いを認め合い、協力し合って生活している。	46.1	51	97.1	-0.1	2.4	0.4	51.9	45.3	97.2	2.7	0
6	子どもは、授業の内容を理解している。	29.4	60	89.4	-0.9	10.2	0.4	33.3	57	90.3	9.3	0.4
7	子どもは、家庭での学習習慣が身に付いている。	30.6	44.1	74.7	-5.2	22	3.3	35.3	44.6	79.9	14.7	5.4
8	子どもは、積極的に体を動かしたり、遊んだりしている。	39.6	35.1	74.7	-4.4	19.6	5.7	47.7	31.4	79.1	17.8	3.1
9	子どもは、病気やけがなどをしないように気を付けて生活している。	37.1	55.5	92.6	1.9	6.5	0.8	45	45.7	90.7	9.3	0
10	教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細やかな指導をしている。	55.5	39.2	94.7	0.5	4.9	0.4	44.2	50	94.2	5	0.8
11	教職員は、子どものよさや努力を認めている。	63.7	33.1	96.8	3.8	2.9	0.4	53.5	39.5	93.0	6.6	0.4
12	教職員は、子どもの悩みや困りごとがあったとき、適切に対応している。	54.7	40.8	95.5	4.8	3.7	0.8	47.7	43	90.7	8.5	0.8
13	学校は、学校だよりやホームページなどで、積極的に情報を発信・提供している。	51.8	44.1	95.9	-0.2	4.1	0	47.7	48.4	96.1	3.9	0
14	学校は、日常の危機管理体制を整え、児童の生命・安全に努めている。	53.5	41.6	95.1	-0.2	4.5	0.4	45.7	49.6	95.3	4.3	0.4

は、90%以上で良好な結果が見られる項目

は、今後の課題となる項目

【良好な結果が見られる項目について】

○9項目について、90%以上の良好な結果が見られました。良好な結果の中で、ポイントがアップしたものは、以下の5項目です。

- ・ 1「子どもは、楽しく学校へ通っている。」（+0.9）
- ・ 9「子どもは、病気やけがなどをしないように気を付けて生活している。」（+1.9）
- ・ 10「教職員は、分かりやすい授業や一人一人へのきめ細やかな指導をしている。」（+0.5）
- ・ 11「教職員は、子どものよさや努力を認めている。」（+3.8）
- ・ 12「教職員は、子どもの悩みや困りごとがあったとき、適切に対応している。」（+4.8）

※ 「すべての子どもたちはすばらしい力や可能性をもっている」との教育観のもと、教育活動の様々な場面において「自尊感情を高める」「認め合い」をキーワードとして取り組んで参りました。

日々の授業の中では、「話し合い活動」に重点を置いて子ども同士の意見交流を積極的に取り入れ、互いの意見のよさや違いを認め合う時間を多く設けるように心掛けてきました。また、様々な活動を行う際に、子どもたちが主体的に取り組む、自治的活動を行う中で互いを認め合いながら協力することで、自己有用感を高めるようにして参りました。

児童アンケートの「友達のよさや違いを認めたり協力して活動したりしている」の項目においても、達成率が98%という結果を得ることができました。子どもたち自身も意識して生活していたようです。

※ アンケート14項目のうち9項目が90%以上の良好な結果が得られました。しかし、ポイント的には下がっている項目があることも事実です。保護者の皆様からいただきました御意見を真摯に受け止め、今後の教育活動に生かして行きたいと思えます。

【今後の課題となる項目について】

○以下の4項目が今後の課題となる項目です。

- ・ 2「子どもは、元気に挨拶をしている。」（82.0%）
- ・ 4「子どもは、あとしまつ・整理整頓に心がけて生活している。」（59.6%）
- ・ 7「子どもは、家庭での学習習慣が身に付いている。」（74.7%）
- ・ 8「子どもは、積極的に体を動かしたり、遊んだりしている。」（74.7%）

※ 2「子どもは、元気に挨拶をしている。」の項目は、82.0%の肯定的な回答があるものの前年度比-6.3ポイントであり、課題があると感じます。朝の会・帰りの会など担任からの指導は元より、始業式での校長講話やそれを受けて学年・学級での指導等、折りに触れて挨拶の大切さを指導していきます。

※ 4「子どもは、あとしまつ・整理整頓に心がけて生活している。」の項目において、教職員・児童の評価はともに90%を超えており、学校生活においては、整理整頓を心掛けて生活をしているという結果でした。公的な場で人が集まるところでは、後片付けや整理整頓を心掛け、みんなが気持ちよく生活できるようにしようとする心が育っているものと思われます。どのような場面においても自分から進んで整理整頓を心掛け、環境を整えて気持ちよく生活ができる態度を育めるよう指導に努めて参ります。

※ 家庭学習の取組について、「家庭学習強調週間」での御家庭での御協力や日々の家庭学習での御協力ありがとうございます。家庭学習は各学年で取組の目安時間を設定し、家庭において学習に向かう習慣付けを図ることがねらいの一つでもあります。時間を有効的に使いながら、自分に合った学習方法で宿題や自主学習に取り組むことで、将来的に自主的に学びに向かう力を育みます。学校で作成した「家庭学習のすすめ」等を活用し、日々の取組のヒントにいただけたらと思います。学校においても、引き続き家庭学習の大切さを伝えながら、取り組み方を指導したり、家庭学習の取組を紹介し合う時間を設けたりしながら、子どもたちのやる気を高めて参ります。

※ 学校においては、休み時間の外遊びを奨励し、積極的に体を動かす機会を作っています。教科体育においても、体力テストの結果を学年ごとに分析して弱点を補うためのトレーニングを授業の最初に取り入れるなど、バランスよく体力を高められるよう取り組んでおります。しかし、昨今の異常気象による気温の上昇や感染症拡大予防のための活動制限など、思い切り体を動かす機会が十分に取れない状況も散見されます。また、室内での遊びが増え、外で思い切り体を使って遊ぶ機会が減っているのも事実です。生涯に渡って健康な体づくりを行う必要性を子どもたちに伝えながら、積極的に体を動かす機会を自主的に作り、実行できる力を育めるよう努めて参ります。

次年度に向けて、市内各学校と情報交換をしながら改善を図り、保護者の皆様からいただいた意見等も含め検討しながら、子どもたちにとって、よりよい小山一小となるようにして参りたいと思えます。学校と家庭が両輪となって、子どもたちの生きる力をよりよく育めるよう、今後とも御理解と御協力をよろしくお願いいたします。